

数研 研究リポート 38

国民性の研究 第5回全国調査

— 1973 年全国調査 —

1974年3月

統計数理研究所

当研究所では、現在Annals of the Institute of Statistical Mathematicsと統計数理研究所彙報とを発行している。このレポートは研究調査のデータの発表を目的とし必要に応じて発行する。

統 計 数 理 研 究 所

東京都港区南麻布4丁目6-7

電 話 4 4 6 - 1 5 0 1

目 次

I	概 要	1
§ 1	研究の経過	1
§ 2	調査実施の概要	3
§ 3	感謝のことばと仕事の分担	9
§ 4	文献と資料	10
II	質問文と集計表	15
	集計表の見方	15
§ 1	基本項目	17
§ 2	個人的態度	22
§ 3	宗 教	32
§ 4	子供・家	37
§ 5	身近かな社会	46
§ 6	男女差別	62
§ 7	一般の社会的問題	66
§ 8	政治的態度	80
§ 9	日本人・人種	91
III	質問項目一覧表	101

I 概 要

このレポートは、統計数理研究所の国民性調査委員会がおこなっている「国民性調査」の第5回全国調査（1973年秋実施）の結果の単純集計をまとめたものである。なお、比較のため、今回調査した項目だけは、過去のデータものせた。

調査の分析結果は、統計数理研究所の彙報、Annalsに発表される。また「第3日本人の国民性」として、詳細な集計結果もいずれ出版社より刊行発売されることであろう（1975年？）。

§ 1 研究の経過

1. 研究経過

国民性の研究は1953（昭和28）年に第1回の全国調査をおこなひ、以後5年ごとに全国調査をおこなっている。すなわち、第2回を1958年に、第3回を1963年に、第4回を1968年に実施し、今回（1973年）は5回目になる。

これらの全国調査はすべて全国民（20歳以上の有権者）を対象にした標本調査で、各回ともそれぞれ層別多段サンプリングにより抽出された3,000～6,000名の調査対象者に対し、個別面接聴取法により調査をおこなっている。調査項目は毎回50項目前後であり、共通して使用されているものが多いが、今回の調査では、従来から継続して行なっている調査項目による調査票と新規の調査項目による調査票との2種類の調査票によって調査した。全体のサンプルのうちの2/3にはK型を用い、残りの1/3にはM型を用いた。この5年ごとの全国調査のほかに準備調査や吟味調査をおこなっており、これらの調査もそれぞれ独立の調査として分析できるように企画されている。

今回の調査に関連しては、1973年秋の本調査実施の直後に、全国

で10地点をえらび追跡調査をおこなった。この10地点は、調査員がサンプリングのやり方を間違えたものや、調査のやり方を変えたことが確認された地点である。

また、このことと関連するが、調査員が誤りなく調査対象者に面接し、規定どおりの方法で調査を実施したかどうかを検討するために、全国3,000余の対象者に対する葉書による照会を、1974年2月に行なった。

さらに、1974年2月に、静岡市で国民性調査の精度を分析するための調査を行なった。

また同一のサンプルの意見の変化を追求するため、第1回の調査の回答者の一部に対して、郵便によるパネル調査を実施した。

2. 調査方法と調査項目の選定

国民性の研究方法としていろいろの方法があるが、われわれは国民自身の考え方を世論調査の方法で調査研究している。調査項目は、調査方法（面接調査）による制約はあるが、広い範囲にわたって可能な限り客観的なものを選ぶようにしている。調査票作成時（ほとんどの質問項目が第1回目の全国調査時につくられたものであるが）の項目選定の方法は簡単にのべると、つぎのようであり、今回の調査もこれを踏襲した。

まず、国民性に関して言及された各種の文献や資料から、日本人の性質、態度、意見、特徴といわれるものを収集し、これらを整理分類した。つぎに、これらの事項から面接調査に適するように質問項目を作成した。

質問項目は各種のプリテスト、吟味調査により検討を加えるとともに、何回もくり返して調査を実施し、その性質を確かめながら結果の解析を進めている。

3. 第5回全国調査の調査項目

今回の調査では、K型調査票とM型調査票の2種類の調査票を用いたが、このうちK型調査票の調査項目は全て従来実施したことのある調査項目であり、これらの大部分の項目は5回の調査に共通のものである。（詳しくは巻末の「調査項目一覧表」参照のこと）

一方、M型調査票の調査項目はほとんどが新規に作成した調査項目である。これは主として次のような事情を考慮したからである。

- 1° 質問作成から20年たっているため、質問の内容が時代にそぐわなかったり、新たな問題をカバーできないと判断したこと。
- 2° 質問文や回答肢がよくないものがあること。
- 3° 過去の調査でいつも意見の集中度の高い“日本の庭と外国の庭とのどちらが好きか”という問題を確かめ、吟味すること。
- 4° 将来外国との比較が可能であるようにしておくこと。ただし、この調査に用いた質問文が外国に既にあるという訳ではないので、将来この質問文をもとにして、我々が外国で調査を行なうということであるが。

このように、今回の調査のねらいは大きくわけて2つあるといえる。

1つは、20年来の継続質問によって、国民のものの考え方の変化の様相を明らかにすることであり、他の1つは、従来の問題意識を継続しながら、新たな問題をも含みうるようにすることである。

なお、K型と呼んだのは「過去」との比較に重きをおき、調査票を黄色表紙にしたため、M型は「未来」との比較で、水色表紙の調査票にしたからである。

§ 2. 調査実施の概要

1. サンプル

全国の市町村を、地方性、人口規模、産業構成などを考慮して層別し、

各層より合計303地点（市町村）を確率比例抽出法でえらび（第1段のサンプリング）、えらばれた各市町村から投票区を1つ、やはり確率比例抽出法でえらび（第2段サンプリング）、最後に抽出された投票区の有権者名簿より、その層に割り当てられた数だけのサンプルを等間隔抽出法でえらびだした（第3段サンプリング）。計画サンプル数は全国で6,055人（うち沖縄県分55人）である。（表1 層別のあらましを参照）

2. 調査票の種類

上の方法で選びだされた6,055人に対して、2人おきにM型調査票を使用するように計画し、残りの人にはK型調査票を使用するように計画した。すなわち、どの調査地点でも、ほぼ2/3の人にはK型調査票で質問し、ほぼ1/3の人にはM型調査票で質問をした。

3. 調査の実施

全国25大学の協力をあおぎ、1973年9月より11月上旬にかけて全国調査をおこなった。

まず、全国303の調査地点を各大学に割り当て、それらの大学に研究所から調査委員が分担出張して、各大学で調査員となる学生に対して直接調査の説明を与えた。調査員は受け持ちの各調査地点の市・区役所、町村役場にいき、指示された方法で選挙人名簿からサンプルを抽出する（地点当たり平均20人）。それからサンプルの家を訪問し、サンプル本人に会って、調査票どおりの質問をし、サンプルの回答を調査員が調査票に記録するという個別面接調査をおこなった。受け持ちの調査が終了したら（およそ3～4日を要する）、調査票を各大学の監督の先生に提出し、点検された調査票は一括して研究所に返送された。この結果、調査できたものは計画サンプル6,055人のうち4,500人余りになった。

表1 第5回調査の層別のあらまし

		人 口 (千人)	層の数	市町 村数	割当サ ンプル数
全 国	6大都市	東京23区	8840.2	25	1 511
		横 浜 市	2238.3	6	1 130
		名 古 屋 市	2036.1	6	1 118
		京 都 市	1419.2	4	1 82
		大 阪 市	2980.5	9	1 172
		神 戸 市	1288.9	4	1 75
	市	北海道地方	1540.3	4	3 89
		東北地方	2230.2	6	8 129
		川 崎 市	973.5	3	1 56
		栃木・群馬・埼玉県	4012.3	12	14 232
		人口20万 以上の市	北陸地方	1500.4	4 5 87
			東海地方	2157.6	6 7 125
			近畿地方	5669.2	17 17 329
			山陽地方	1290.7	4 4 74
			四国地方	1061.2	3 4 61
			九州地方	3871.4	11 8 224
		人口10万台の市	(層別略).....	10416.2	30 73 603
		人口5万～10万の市.....	(〃).....	11953.7	35 175 691
		人口5万未満の市	(〃).....	9372.7	27 254 542
	町村	北海道の町村	1866.8	5	185 108
		東北地方	第1次産業60%以上	1396.0	4 144 81
		の町村	〃 60%～35%.....	2271.8	6 186 131
			〃 35%未満	348.6	1 21 20
		関東地方の町村	(層別略).....	5080.2	15 346 294
		中部地方の町村	(〃).....	5592.6	16 557 324
		近畿地方の町村	(〃).....	3205.3	10 307 185
		中国地方の町村	(〃).....	2682.6	8 309 155
		四国地方の町村	(〃).....	1678.9	5 191 97
		九州地方の町村	(〃).....	4744.0	14 451 275
		沖縄地方	945.1	3	55 55
	計		104664.5	303 3331	6055

調査終了後、サンプリングの方法に明らかに誤りがあると思われるものや、信頼できないと思われる調査地点（１０地点）について、１９７４年１月に調査をやりなおし、この地点分は入れ替えた。結局最終集計サンプルはＫ型調査票３,０５５人、Ｍ型調査票１,５３９人、合計４,５９４人で、これは計画サンプルの７６％に当たる。

調査不能となったサンプルに関しては、各市・区役所、町村役場の住民課に対して、調査不能になった人の移動の照会を行なった。その結果、調査員の申告は概ね正確であり、調査不能の内訳も、移転、長期不在、病気などやむをえないものが大部分であることが判明した。

なお、調査不能の詳細は表２、表３、表４にしめしてあるので、そちらを参照されたい。

表２ 調査不能の理由

		死 亡	移 転	該 当 者 な し	尋 ね 当 ら ず	長 期 不 在	病 気	一 時 不 在	拒 否	老 衰	そ の 他	計
Ｋ	％	2	22	3	6	20	5	18	16	4	4	100
	実数	16	213	32	56	200	54	180	156	44	32	983
Ｍ	％	1	24	4	3	17	6	18	17	5	5	100
	実数	6	116	20	16	82	30	88	79	23	18	478
計	％	2	23	4	5	19	6	18	16	5	2	100
	実数	22	329	52	72	282	84	268	235	67	50	1461

表3 性別・年齢別サンプル・不能率

		性別		年齢別									
		男	女	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 歳 以上	計
K	集 計 サンプル	1395	1660	428	355	376	352	356	313	224	218	433	3055
	不 能 サンプル	536	447	198	139	122	116	89	61	51	45	162	983
	不能率	28	21	32	28	24	25	20	16	19	17	27	24
	計 画 サンプル	1931	2107	626	494	498	468	445	374	275	263	595	4038
	%	48	52	15	12	12	12	11	9	7	7	15	100
1970年国調 20歳以上		48	52	15	13	12	12	11	8	7	6	16	100

M	集 計 サンプル	668	871	208	173	188	200	178	146	135	102	209	1539
	不 能 サンプル	260	218	106	77	48	50	32	37	42	10	76	478
	不能率	28	20	34	31	20	20	15	20	24	9	27	24
	計 画 サンプル	928	1089	314	250	236	250	210	183	177	112	285	2017
	%	46	54	16	12	12	12	10	9	9	6	14	100
1970年国調 20歳以上		48	52	15	13	12	12	11	8	7	6	16	100

K +	集 計 サンプル	2063	2531	636	528	564	552	534	459	359	320	642	4594
	不 能 サンプル	796	665	304	216	170	166	121	98	93	55	238	1461
	不能率	28	21	32	29	23	23	18	18	21	15	27	24
	計 画 サンプル	2859	3196	940	744	734	718	655	557	452	375	880	6055
	%	50	50	15	12	12	12	11	9	8	6	15	100
1970年国調 20歳以上		48	52	15	13	12	12	11	8	7	6	16	100

表 4 地方・市郡別調査不能率

地 方 別												
	K				M				K + M			
	計サ 画ル	集サ 計ル	不サ 能ル	不 能率	計サ 画ル	集サ 計ル	不サ 能ル	不 能率	計サ 画ル	集サ 計ル	不サ 能ル	不 能率
北 海 道	201	134	67	33	99	70	29	29	300	204	96	32
東 北	357	272	85	24	177	134	43	24	534	406	128	24
関 東	1129	858	271	24	566	430	136	24	1695	1288	407	24
中 部 (東)	321	249	72	22	160	112	48	30	481	361	120	25
中 部 (西)	386	303	83	22	192	167	25	13	578	470	108	19
近 畿	666	475	191	29	331	246	85	26	997	721	276	28
中 国	332	266	66	20	167	138	29	17	499	404	95	19
四 国	142	97	45	32	75	51	24	32	217	148	69	32
九 州	504	401	103	20	250	191	59	24	754	592	162	22
計	4038	3055	983	24	2017	1539	478	24	6055	4594	1461	24

市 郡 別												
	K				M				K + M			
	計サ 画ル	集サ 計ル	不サ 能ル	不 能率	計サ 画ル	集サ 計ル	不サ 能ル	不 能率	計サ 画ル	集サ 計ル	不サ 能ル	不 能率
6 大 都 市	727	539	188	26	361	276	85	24	1088	815	273	25
人口20万 以上の市	947	692	255	27	476	355	121	25	1423	1047	376	26
人口10～ 20万の市	400	292	108	27	203	139	64	32	603	431	172	29
人口5～ 10万の市	475	366	109	23	235	185	50	21	710	551	159	22
人口5万 未満の市	397	312	85	21	200	157	43	22	597	469	128	21
町 村	1092	854	238	22	542	427	115	21	1634	1281	353	22
計	4038	3055	983	24	2017	1539	478	24	6055	4594	1461	24

4. 日程のあらまし（全国調査のみ）

1972年	9月	層別カード作成に入る
1973年	3月	全国調査の層別と調査地点の決定
	5月	各大学に調査地点割当て，協力大学と連絡開始
	7月	質問項目決定
	9～11月	全国調査実施
	12月	調査票整理，手集計カード作成
1974年	1月	電算カード作成，追跡調査（10地点）
	2月	基本項目集計完了
	//	国民性精度調査，静岡市で実施
	//	パネル調査実施

§ 3 感謝のことばと仕事の分担

第5回全国調査を実施するに当たり，全国25大学の諸先生および学生諸君をはじめ，いろいろの方々の協力を得た。ここにお名前をあげて厚くお礼を申しあげる次第である。（敬称は略します）

山元周行（北海道大），羽賀与七郎（弘前大），石川栄助（岩手大），山辺敬之（山形大），大石潔（茨城大），飽戸弘（埼玉大），米田桂三（横浜市大），山浦信治（新潟大），丸山登（富山大），西平直喜（山梨大），水野欽司（名古屋大），返田健（岐阜大），木下富雄（京都大），小嶋外弘（同志社大），山本登（大阪市立大），大石準一（関西大），安部栄造（関西学院大），遠藤秀機（和歌山大），脇本和昌（岡山大），片岡徳雄（広島大），池田威人（山口大），木村等（香川大），大屋祐雪（九州大），神部宏泰（佐賀大），真鍋隆彦（鹿児島大）

調査の実施には，このほか早稲田大学，慶応大学，東京大学などの学生諸君の協力を得た。

調査委員のほか，統計数理研究所の高橋力，染谷三郎，大場正夫，杉浦

正光，遠藤一夫，大久保八八，水野喜四郎，中野吟二郎，植島綾子，畑和子の諸氏の協力を得た。

この調査の事務局は，付属統計技術員養成所に置き，西平重喜と坂元慶行がその運営にあたったが，このほか林文，鈴木沙代子（旧姓時永），高橋和子，大久保道子，寺島美知代，久米静馥，竹中千鶴，由岐和広，大幡康平，松井文男，西川文子の諸氏は作業の全面にわたって，サポートしてくれた。これらの方々のアシストが，今回の調査をスムーズにし，みのり多きものとしてくれたといえよう。

なお，今回の調査委員は，林知己夫，青山博次郎，西平重喜，鈴木達三，坂元慶行である。

§ 4 文献と資料

この研究は特別事業費として文部省から交付された経費でまかなわれた。

この研究について，すでに印刷されたものはつぎのとおりである。

1. 林知己夫：国民性の研究 「教育統計」第30号，1954年，文部省調査局
2. 林 他：わが国国民性の統計数理的研究 「日本統計学会年報」1953年
3. Hayashi *et al* : A Study of Japanese National Character *Ann.Inst.Statist.Math.*, Sup.I 1959
4. 国民性の研究 「数研研究リポート」№5，6，1959年（いずれも絶版）
5. 岐阜吟味調査 「数研研究リポート」№7，1960年（絶版）
6. 西平重喜：日本人のものの考え方 「経済評論」1959年8月臨時増刊号
7. 林知己夫：日本人の国民性 「自由」1960年1月号
8. 西平重喜，鈴木達三：わが国民性の統計的研究第2次調査 「日本統

計学会年報」1959年

9. Research Committee : A Study of the Japanese National Character, Second Survey. *Ann.Inst. Statist.Math.*, Sup.II, 1960.
10. 統計数理研究所国民性調査委員会：「日本人の国民性」至誠堂1961年8月
11. 西平重喜：「日本人の意見」誠信書房1963年
12. 岐阜調査1963：「数研研究レポート」№8, 1963年（絶版）
13. 鈴木達三：国民性の研究 — 第Ⅲ次全国調査について「統計数理研究所彙報」第11巻2号, 1964年
14. 国民性の研究 第Ⅲ次調査 「数研研究レポート」№11, 1964年（絶版）
15. 成年の常識 「数研研究レポート」№12, 1964年（絶版）
16. 鈴木達三：日本人は変わったか 「自由」1964年10月号
17. Research Committee : A Study of the Japanese National Character, The Third Survey. *Ann.Inst. Statist.Math.*, Sup.IV, 1966.
18. 林, 西平, 鈴木：「図説 日本人の国民性」 至誠堂1965年5月
19. 国民性の研究 1965年調査 「数研研究レポート」№14, 1966年（絶版）
20. 林, 鈴木：日本人の自画像 「自由」1967年1月号
21. 鈴木達三：日本人の国民性・ものの考え方 「統計」1968年2月号
22. 宗教調査 — 1968年, 国際比較 — 「数研研究レポート」№21, 1969年（絶版）
23. 西平重喜：日本人の宗教的態度と国際比較 「布教」1969年6月号, 7月号

24. S.Misihira : Les Attitudes des Japonais envers la religion, *Ann.Inst.Statist.Math.*, Sup.6, 1970.
25. T.Suzuki : A Study of the Japanese National Character — part IV — , *Ann.Inst.Statist.Math.*, Sup.6, 1970.
26. 林知己夫：日本人の国民像 — 15年の変化 「自由」1969年7月号
27. 林知己夫：断絶する政党と国民の政治意識 「自由」1970年2月号
28. 西平重喜：15年間の意見の変化 — 国民性第Ⅳ次調査より 「国民生活研究」1969年7月号
29. 西平重喜：国民性の変化 「第20回新聞広告ゼミナール講演集」全日本新聞広告会
30. 統計数理研究所国民性調査委員会：「第2 日本人の国民性」至誠堂 1970年
31. 西平重喜：国民性調査からみた現代日本人の考え方感じ方 「TVVレポート」№67, 1970年
32. 青山博次郎：日本人 — 統計から見た特性 「毎日夫人」1971年5月号
33. 鈴木達三：ハワイにおける日系人 「学術月報」1972年2月号
34. T.Suzuki et al : A Study of Japanese—Americans in Honolulu, Hawaii, *Ann.Inst.Statist.Math.*Sup. 7, 1972.
35. 林知己夫：比較研究のむずかしさ 「共同通信」1972年7月5日号
36. C.Hayashi : The Japanese National Character 「第20回国際心理学会」LS, 7-1, 1972年

37. 林知己夫：日本人の国民性について 「サンケイ新聞」1972年8月25日号
38. 西平重喜：西洋人は宗教についてどう考えているか 「宗務時報」 №29, 1972年
39. 林, 西平, 野元, 鈴木：「比較日本人論」 中央公論社, 1973年
40. 西平重喜：日本人の国民性について 「心と社会」Vol.4, №1, 1973年
41. 鈴木達三：比較文化研究に対する一つの統計的分析の試みⅠ 「統計数理研究所彙報」第21巻2号, 1973年
42. ハワイの日系人 「数研研究リポート」 №33, 1973年（絶版）
43. 坂元慶行：公共意識と個人の権利意識「AD.R」63号（協和広告）1973年

Ⅱ 質問文と集計表

集計表の見方

1. ここには、1973年の第5回全国調査で使用した質問の全文とその集計表を収録してある。収録順は基本項目別分析一覧表にある通り、§、#番号順になっている。
2. 単純集計表には比較のため第1回～第5回の全国調査の結果を示してある。

略 称	説 明
I (1953)	1953年(昭和28年)におこなった第1回全国調査の結果を示す
II (1958)	1958年(昭和33年)におこなった第2回全国調査の結果を示す
III (1963)	1963年(昭和38年)におこなった第3回全国調査の結果を示す
IV (1968)	1968年(昭和43年)におこなった第4回全国調査の結果を示す
V (1973)	1973年(昭和48年、今回)におこなった第5回全国調査の結果を示す

なお第Ⅴ次調査のKというのは、前述のように過去との比較に重きをおいた調査票(黄表紙)の集計結果、およびその質問番号をあらわし、Mは未来のために改良または新設した質問を主とした調査票(水色表紙)の集計結果、質問番号を示す。

また第Ⅱ次調査も調査票を2種づくり、一方は問1から、他方は問101から始まっている。

問欄の×印は、そのときは質問していないことを示す。

3. 表の中の数字は原則として ϕ を示し、小数1桁目を4捨5入してある。
計の右に()で示したのは集計に用いたサンプル数である。

4. 集計表にあげられた選択肢のうち D.K. (Don't know) は「分からない」の意味であるが、われわれは、これを少し広くとり、調査員につきのように指示しておいた。

サンプルが質問の内容を理解しないときは、質問をくりかえしてみても、それでも分からないようなら D.K. (Don't know) とすること。質問は義務教育だけでも分かるはずの言葉を使うように心がけている。中には二、三その範囲を越えることもあろうが、統計調査であるから、この言葉で質問したとき、無答の人がどのくらいいたかは大切なデータとなるので、いかえたりしないこと。また、サンプルが質問に対して判断する力がないもの、あるいは、その質問の答を拒否したものをさす(理由をいわずに“なんともいえない”とか2、3回質問をくり返してみても“さあ、わかりません”といったものを含む)。

5. 質問文の体裁は調査票に印刷した通りである。回答記入欄も調査票の通りである。リスト(回答選択肢を記入して回答者に示す)を使用した質問は質問文の前に[リスト]とある。なお、リストには回答選択肢のみ印刷し、その他、D.K. は入っていない。

§ 1 基本項目

1.1 性

1.2 年 齡

	問	1 2 男 女	1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 25 30 35 40 45 50 55 60 } } } } } } } } 以 24 29 34 39 44 49 54 59 上	計
I (1953)	1	47 53	19 15 12 11 10 8 9 6 10	100 (2254)
II (1958)	¹ 101	46 54	15 14 14 10 11 8 7 7 14	100 (2,369)
III (1963)	—	46 54	13 13 14 12 10 9 9 6 14	100 (2698)
IV (1968)	—	47 53	12 13 13 13 11 8 7 7 16	100 (3,033)
V (1973)	K+M	45 55	14 11 12 12 12 10 8 7 14	100 (4,594)
	K	46 54	14 12 12 12 12 10 7 7 14	100 (3,055)
	M	43 57	13 11 12 13 12 10 9 7 13	100 (1,539)

1.3 学 歴

〔学歴〕 あなたが、最後にいらっしゃった学校はなんですか？

- 1 小学校〔学歴なしをふくむ〕
- 2 新制中学〔旧制高等小学〕
- 3 新制高校〔工(商)業高校・旧制中学校, 中学校, 商(工)業学校,
(高等)女学校〕
- 4 大学, 旧制高専〔旧制高等学校, 工(商)業専門, 高等工(商)業〕
- 5 その他〔1～4のどれに当るか分からないときは校名記入〕

	問	1 小 学	2 中 学	3 高 校	4 大 学	5 他	計
I (1953)	55	33	35	24	6	2	100(2,254)
II (1958)	32a 132a	31	37	24	7	1	100(2,369)
III (1963)	—	21	41	29	8	1	100(2,698)
IV (1968)	—	16	40	34	10	0	100(3,033)
V (1973)	K+M	15	30	41	12	2	100(4,594)
	K	15	30	42	11	2	100(3,055)
	M29	14	31	40	13	2	100(1,539)

1. 4 * 職 業

	問	1 農 林 水 産 業	2 自 営 の 商 工 業	3 事 務 系 の 勤 め 人	4 作 業 系 の 勤 め 人	5 専 門 ・ 自 由 業	6 管 理 職	7 主 婦	8 学 生 ・ 無 職	9 D ・ K	計
V (1973)	K+M	113	10	16	16	5	3	26	10	1	100(4,594)
	K	13	10	16	16	5	3	26	10	1	100(3,055)
	M30	13	11	15	16	5	2	27	10	1	100(1,539)

1. 4 職 業

	問	1 専 門 技 術 理	2 管 理	3 大 企 業 ホ ウ イ ト カ ラ ー	4 中 小 企 業 ホ ウ イ ト カ ラ ー	5 家 族 従 業 者	6 小 企 業 主	7 農 林 漁	8 大 企 業 フル ー カ ラ ー	9 中 小 企 業 フル ー カ ラ ー	10 単 純 労 働	11 無 職	12 他 D ・ K	計
I (1953)	57	分類がちがう												
II (1958)	31a 131a	6		11		—	8	29	7	4	22	13		100(2,396)
III (1963)	—	3	2	6	3	3	11	16	7	8	2	38	1	100(2,698)
IV (1968)	—	3	2	7	5	3	11	16	10	8	1	34	0	100(3,033)

1.5 市 郡

	問	1 区 (大都市)	2 20 万 以上	3 10 / 20 万	4 市 5 / 10 万	5 5 万 未 満	6 町 村	計
I (1953)	—	13	26				61	100 (2254)
II (1958)	—	15	29		12		44	100 (2369)
III (1963)	—	16	12	11	11	12	38	100 (2698)
IV (1968)	—	17	17	10	12	11	33	100 (3033)
V (1973)	K+M	18	23	9	12	10	28	100 (4594)
	K	18	23	10	12	10	27	100 (3055)
	M	18	23	9	12	10	28	100 (1539)

1.6 地 方

東 北 : 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島

関 東 : 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川

中部(東) : 新潟, 山梨, 長野, 静岡

中部(西) : 富山, 石川, 福井, 岐阜, 愛知

近 畿 : 三重, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山

中 国 : 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口

九 州 : には V から沖縄をふくむ

	問	1 北 海 道	2 東 北	3 関 東	4 中 部 (東)	5 中 部 (西)	6 近 畿	7 中 国	8 四 国	9 九 州	計
I (1953)	—	5	14	17	21	11	16	16			100(1,370)
II (1958)	—	5	10	25	18	14	8	5	15		100(2,369)
III (1963)	—	5	10	23	9	10	17	8	5	13	100(2,698)
IV (1968)	—	5	10	25	9	9	16	8	5	13	100(3,033)
V (1973)	K+M	4	9	28	8	10	16	9	3	13	100(4,594)
	K	4	9	28	8	10	16	9	3	13	100(3,055)
	M	5	9	28	7	11	16	9	3	12	100(1,539)

§ 2 個人的態度

2.1 しきたりに従うか

あなたは、自分が正しいと思えば世のしきたりに反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間のしきたりに、従った方がまちがいないと思いますか？

1 おし通せ	2 従え	3 場合による	
4 その他〔記入〕		5 D.K.	

	問	1 おし 通 せ	2 従 え	3 場 合 に よ る	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	4	41	35	19	1	4	100(2254)
II (1958)	⁷ 107	41	35	19	1	4	100(2369)
III (1963)	7	40	32	25	1	2	100(2698)
IV (1968)	8	42	34	20	2	2	100(3033)
V (1973)	K11	36	32	29	1	2	100(3055)

2.2 反対をおし切って実行

〔リスト〕 自分が正しいと思ったことを，他の人に，十分説明しても，聞き入れられない場合，つぎのどちらの態度をとる人が望ましいと思いますか？

- | | |
|----------------------|--------|
| 1 他の人の反対を押し切っても実行する人 | |
| 2 反対があれば，実行をとりやめる人 | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 実 行	2 と り や め	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	²⁷ 127	54	32	7	7	100(2369)
III (1963)	19	55	32	6	7	100(2698)
IV (1968)	21	59	30	7	4	100(3,033)
V (1973)	K27	53	32	6	9	100(3,055)

2.3 c 家庭に満足か , # 2.3 d 社会に満足か

〔リスト〕 a あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか？

b では、社会に対してはどうですか？

1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 その他〔記入〕 6 D.K.

	問		1 満 足	2 やや 満足	3 やや 不満	4 不 満	5 他	6 D,K,	計
V(1973)	M9a	家庭	48	33	13	5	1	0	100(1,539)
	M9b	社会	6	20	37	30	1	6	100(1,539)

#2.4 くらし方

〔リスト〕 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか？

1	一生けんめい働き、金持ちになること
2	まじめに勉強して、名をあげる
3	金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をすること
4	その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
5	世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも清く正しくくらすこと
6	自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
7	その他〔記入〕
8	D.K.

	問	1 金 持 ち	2 名 を あ げ る	3 趣 味	4 の ん き に	5 清 く 正 し く	6 社 会 に つ く す	7 他	8 D.K.	計
I (1953)	39	15	6	21	11	29	10	4	4	100(2254)
II (1958)	22	17	3	27	18	23	6	3	3	100(920)
III (1963)	26	17	4	30	19	18	6	3	3	100(2698)
IV (1968)	31	17	3	32	20	17	6	2	3	100(3,033)
V (1973)	K34	14	3	39	23	11	5	2	3	100(3,055)

#2.4 * くらし方

〔リスト〕 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか？

1	金持ちになる
2	有名になる
3	自分の好きなようにくらす
4	社会のためにつくす
5	その他〔記入〕
6	D.K.

＜ #2.4 と質問は同じ、答を変更 ＞

	問	1 金 持 ち	2 有 名 に	3 自 分 の 好 み	4 社 会 に つ く す	5 他	6 D.K.	計
V (1973)	M26	7	2	68	18	2	3	100(1,539)

#2.5 自然と人間との関係

〔リスト〕 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、ひとつだけえらんで下さい？

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない | |
| 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない | |
| 3 人間が幸福になるためには、自然を征服してゆかなければならない | |
| 4 その他〔記入〕 | 5 D.K. |

	問	1 自然 に従え	2 自然 を利用	3 自然 を征服	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	34	27	41	23	1	8	100(2254)
II (1958)	15	20	38	28	1	13	100(920)
III (1963)	15	19	40	30	1	10	100(2698)
IV (1968)	17	19	40	34	1	6	100(3033)
V (1973)	K+M	31	45	17	1	6	100(4594)
	K23	30	45	16	1	8	100(3,055)
	M20	32	44	18	1	5	100(1,539)

2.6 過去と将来

〔リスト〕 あなたは、過去のことと、将来のことと、どちらをよけいに考えますか、つぎのうちどれか1つをえらんで下さい？

- 1 どちらかといえば、自分の過去のことより、自分の将来のことの方をよけいに考える
- 2 自分の過去のことと、自分の将来のことと、同じくらい考える
- 3 どちらかといえば、自分の将来のことより、自分の過去のことの方をよけいに考える
- 4 その他〔記入〕
- 5 D.K.

	問	1 将来 の方	2 どちら 考 え る	3 過 去 の 方	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	44	61	27	9	1	2	100(2254)
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	18	69	22	7	1	1	100(3,033)
V (1973)	K 24	66	25	7	1	1	100(3,055)

#2.7 一番大切なもの

あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。一つだけあげてください？（なんでもかまいません）

（自由回答法）

〔品物，愛情，子供などなんでもよいが，こちらからは絶対に例をあげるな〕

	問	1 生命・健康	2 子 供	3 家 族	4 家 ・ 先 祖	5 金 ・ 財 産	6 愛 情 ・ 精 神	7 仕 事 ・ 信 用	8 国 家 ・ 社 会	そ の 他	D ・ K 特 に な し	計
I (1953)	47	12	12	19	*	16	11	*	*	25	5	100(2254)
II (1958)	29 129	21	11	11	*	12	21	*	*	19	5	100(2369)
III (1963)	29	26	10	13	2	10	15	10	3	4	7	100(2698)
IV (1968)	34	28	8	13	3	8	15	10	4	5	6	100(3033)
V (1973)	K41	20	8	20	2	8	17	8	5	4	8	100(3055)

* はその他

2.8 一生働くか

もし、一生楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか？

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 ずっと働く | 2 働くのをやめる |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 ず っ と 働 く	2 働 く の を や め る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M2	70	25	3	2	100(1,539)

#2.9 ムダにしているか

あなたご自身は、物をムダにしていると思いますか、それともそうは思いませんか？

1 ムダにしている	2 ムダにしていない
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 ム し ダ て に い る	2 ム ダ い に な し て	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M 6	48	48	2	2	100(1,539)

#2.10 幸福かためになることか

〔リスト〕 2人の人が、つぎのような意見をのべました。あなたは、どちらの意見に賛成ですか？

1	人間として生れてきたからには、自分がしあわせにくらすことが第一だ
2	人間として生れてきたからには、なにか小さなことでも、世の中のためになることをしたい
3	その他〔記入〕
4	D.K.

	問	1 し あ く わ ら せ す に	2 世 め の に 中 な の る た	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M11	27	66	2	5	100(1,539)

§ 3 宗 教

3.1 宗教を信じるか 3.1 b 宗派名

宗教についておききたいのですが、

たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか？

1 もっている、信じている

宗派名や、何を信じているか、くわしくきく。〔たとえば、黒住教、日蓮正宗の創価学会、立正佼成会というように〕

また、どんなことをしているか、くわしくきく。

これがすんだら、問bはとばし問20へ

2 もっていない、信じていない、関心がない→問bへ

	問	2 信 じ て い な い	1 団 体 に て い る	3 信 じ て い る ・ 金 光	11 天 理 道	4 神 創 価 学 会	5 立 正 佼 成 会	6 法 華 蓮 華 宗	7 日 蓮 の 他 の 仏 教	8 新 興 宗 教	9 キ リ ス ト 教	13 D.K.	計
I (1953)	×												
II (1958)	16 a, b	65		5		24				2	1	5	100 [*] (920)
III (1963)	28 a	69		4		23				1	1	4	100 [*] (2698)
IV (1968)	33 a	70	3	1	1	4	1	2	17	1	1	0	100 [*] (3,033)
V (1973)	K19 a	75	3	1	1	5	0	1	12	1	1	0	100(3,055)

* 四捨五入の誤差のため、II, III, IVとも合計は100にならない。

3.1 c (宗教) していること

[前問 # 3.1 で信じていると答えた人のみ]

(自由回答法)

	問	1 全 く 無 関 心	2 関 心 中 に あ り き た り	3 定 期 的 に す る	4 毎 日 何 か す る	他 の 人 に ま で 職	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	28 a	47	20	30	3		100(828)
IV (1968)	33 a	26	35	36	3		100(920)
V (1973)	K19 a	43 *	21	32	4		100(752)

* うち無記入のものは 27

3.2 「宗教心」は大切な

〔前問 # 3.1 が答 1 の人には質問しない〕それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか？

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 1 大 切 | 2 大切でない | |
| 2 その他〔記入〕 | | 4 D.K. |

	問	1 大 切	2 大 切 で な い	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	16c	72	16	2	10	100(655)
III (1963)	28b	77	13	4	6	100(1,863)
IV (1968)	33b	76	14	5	5	100(2,113)
V (1973)	K19 b	69	15	6	10	100(2,303)

3.7 性善・性悪

〔リスト〕 人間の本来の性質が善であるか、悪であるか（よいか、わるいか）について、つぎの4つの意見があります。あなたの経験からいって、最もあなたの考えに近いものを、1つだけえらんで下さい？

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 | 人間の性質は本来（生まれながら）善である |
| 2 | 人間の性質は本来（生まれながら）悪である |
| 3 | 人間の性質は本来（生まれながら）善でもあり、また同時に悪でもある |
| 4 | 人間の性質は本来（生まれながら）善でも悪でもない |
| 5 | その他〔記入〕 |
| 6 | D.K. |

	問	1 善 で あ る	2 悪 で あ る	3 悪善 でも もあ るり	4 善 でも も悪 い	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	46	31	2	25	35	0	7	100(2254)
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	K36	25	3	40	27	1	4	100(3,055)

3.9 首相の伊勢参り

あたらしき総理大臣になったとき、伊勢の^{コウダイ}皇大神宮にお参りに行く人がありますが、あなたはこのことをどう思いますか？

- | | |
|------------|------------|
| 1 行かねばならぬ | 2 行った方がよい |
| 3 本人の自由だ | 4 行かない方がよい |
| 5 行くべきではない | |
| 6 その他〔記入〕 | 7 D.K. |

	問	1 行 か ね ば ら ば ぬ	2 行 っ た よ 方 い が	3 本 人 の 自 由	4 行 か な い 方 い が	5 行 く は べ な き い で	6 他	7 D.K.	計
I (1953)	14	7	50	23	6	2	2	10	100(2,254)
II (1958)	110	5	33	27	12	5	2	16	100(1,449)
III (1963)	10	4	28	41	9	5	3	10	100(2,698)
IV (1968)	11	3	28	33	14	6	6	10	100(3,033)
V (1973)	K14	4	21	48	10	5	3	9	100(3,055)

3.9 * 首相の伊勢参り

あたらしき総理大臣になったとき、伊勢の^{コウダイ}皇大神宮にお参りに行く人がありますが、あなたは行った方がよいと思いますか、行かない方がよいと思いますか？

- | | |
|-----------|------------|
| 1 行った方がよい | 2 行かない方がよい |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

＜# 3.9 と質問は同じ，答を整理＞

	問	1 行 っ た 方 よ い	2 行 か な い 方 い が	3 他	4 D.K.	計
V (1973)	M 4	40	25	16	19	100(1,539)

§ 4.1 子 供

4.4 先生が悪いことをした

「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれがほんとうであることを知っている場合、子供には

「そんなことはない」

といった方がいいと思いますか、それとも

「それはほんとうだ」

といった方がいいと思いますか？

1 そんなことはないという

2 ほんとうだという

3 その他〔記入〕

4 D.K.

	問	1 はそ なん いな いとこ う と	2 本 当 だ いと う	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	9	38	42	13	7	100(2254)
II (1958)	6	38	41	10	11	100(920)
III (1963)	4	32	50	10	8	100(2698)
IV (1968)	4	29	52	11	8	100(3,033)
V (1973)	K5	31	54	6	9	100(3,055)

cf. # 4.4 b

4.4 b ウソー先生のうわさ話

4.4 c ウソーつき合い

4.4 d ウソー国内の混乱

- a ウソをつくことは悪いことになっていますが、子供の前で先生についてのうわさ話などが出たとき、ウソをついてもやむを得ないことがあると思いますか？
- b では、人とのつき合いのためには、ウソをついてもやむを得ないことがあると思いますか？
- c では、国内がいたずらに混乱しそうだと判断されるとき、国の責任者はウソをついてもやむを得ないことがあると思いますか？

1 やむを得ない	2 ウソをついて はいけない	3 その他 〔記入〕	4 D.K.
----------	-------------------	---------------	--------

	問		1 や む を 得 い	2 て は い け な い	3 他	4 D.K.	計
V(1973)	M7 a	先 生	65	26	3	6	100(1,539)
	M7 b	つき合い	62	32	3	3	100(1,539)
	M7 c	国内混乱	32	52	2	14	100(1,539)

4.5 子供に「金は大切」と教える

小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。
「小さいときから、お金は人にとって、いちばん大切なものと教えるのがよい」
というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛 成	2 反 対
3 いちがいにはいえない	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 はい いち えが ない に	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	2401	65	24	9	0	2	100(2254)
II (1958)	×						
III (1963)	5	60	23	15	1	1	100(2698)
IV (1968)	5	57	28	12	1	2	100(3033)
V (1973)	K 6	44	38	17	1	0	100(3055)

4.5 * 子供に「金は大切」と教える

〔リスト〕 小学校に行っているくらいの子供をそだてるとき、つぎのどちらがよい
と思いますか？

1 「お金は人にとっていちばん大切なものだ」と教える	
2 「お金も大切だが、人にとってもっと大切なものがある」と教える	
3 その他〔記入〕	4 D.K.

＜ # 4.5 の質問形態を変更＞

	問	1 い 切 ち な ば ん の 大	2 な も つ の と あ が 大 切	3 他	4 D.K.	計
V (1973)	M 10	9	87	2	2	100(1539)

4.6 子供に「メンツは大切」と教える

それでは、同じく、小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、小さいときから、自分の顔とかメンツとかをつぶされないように注意しろと教えるのと、自分の顔とかメンツをたてるということにこだわるなと教えるのと、どちらが大切だと思いますか？

1	メンツは大切	
2	こだわるな	
3	その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 メンツ 大は 切	2 こだ わる な	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	24の 3	36	43	13	8	100(2254)
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	K 8	20	70	2	8	100(3055)

4.7 子供に自由と規律

それでは、やはり小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、小さいときから、自由の尊さを教えるのと、規律の尊さを教えるのとでは、どちらが大切だと思いますか？

1 自由の尊さを教える

2 規律の尊さを教える

3 その他〔記入〕

4 D.K.

	問	1 自 由	2 規 律	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	2404	16	63	15	6	100(2254)
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	6	20	68	7	5	100(3,033)
V (1973)	K 7	22	66	7	5	100(3,055)

4.1 3 就職のとき , # 4.1 3 b 嫁入りのとき

- a [リスト] 学校を卒業して、仕事のため、家から離れて行く自分の子供に、2人の親がつぎのように言いました。親としては、どちらの言い方がよいと思いますか？

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | こまったことがあったら、まず親に相談しなさい |
| 2 | 今後はこまったことがあっても、親を頼りにしてはいけない |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

- b [同じリスト] では、娘が嫁に行く場合は、どちらがよいと思いますか？

	問		1 相 談 し な い	2 頼 る な	3 他	4 D.K.	計
V(1973)	M15 a	就 職	58	37	2	3	100(1,539)
	M15 b	嫁入り	54	42	1	3	100(1,539)

§ 4.2 家

4.8 結婚式・葬式盛大に

結婚式とか葬式というようなものは、多少は金がかかっても盛んにやる人がありますが、あなたはこれについて、どう思いますか？

1	ばかばかしい、よくない	2	しかたがない
3	身分相応にやれ	4	盛んにやれ
5	その他〔記入〕		6 D.K.

〔“結婚式は盛大に、葬式は簡単に”などは「4」にする〕

	問	1 よ く な い	2 し か た な が い	3 身 分 相 応 に や れ	4 盛 大 に	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	17	31	5	48	8	6	2	100(2254)
II (1958)	109	48	5	38	6	2	1	100(1,449)
III (1963)	9	35	4	52	6	2	1	100(2698)
IV (1968)	10	37	4	47	7	4	1	100(3,033)
V (1973)	K13	30	9	53	5	3	0	100(3,055)

4.8 * 結婚式に金をかける

結婚式にたくさんのお金をかける人がありますが、あなたはこういうことをよいと思いますか、それともよくないと思いますか？

1	よい	2	よくない
3	その他〔記入〕		4 D.K.

≪ # 4.8 の質問，答ともに変更 ≫

	問	1 よ く な い	2 よ く な い	3 他	4 D.K.	計
V (1973)	M 3	15	67	14	4	100(1,539)

4.10 他人の子供を養子にするか

子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか？

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 つがせた方がよい | 2 つがせないでもよい、意味がない |
| 3 場合による | 4 その他〔記入〕 |
| 5 D.K. | |

	問	1 つ が せ る	2 つ が せ な い	3 場 合 に よ る	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	2801	73	16	7	1	3	100(2254)
II (1958)	106	63	21	8	1	7	100(1,449)
III (1963)	2	51	32	12	1	4	100(2,698)
IV (1968)	2	43	41	9	2	5	100(3,033)
V (1973)	K 3	36	41	17	1	5	100(3,055)

4.1 1 先祖を尊ぶか

あなたはどちらかといえば、先祖を尊ぶ方ですか、それとも尊ばない方ですか？

1 尊 ぶ	
2 普 通	
3 尊ばない方	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 尊 ぶ	2 普 通	3 尊 ば な い 方	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	3	77	15	5	1	2	100(2254)
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	K 20	67	21	10	1	1	100(3,055)

§ 5 身近な社会

5.1 恩人がキトクするとき

〔絵を見せながら〕 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受けとったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。

〔ここでリストを見せる〕 あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を一つだけえらんで下さい？

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1 何をおいてもすぐ故郷へ帰る | |
| 2 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 故郷 帰るへ	2 会 出議 るに	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	41	54	41	1	4	100(2254)
II (1958)	111a	50	39	2	9	100(1449)
III (1963)	13a	46	46	2	6	100(2698)
IV (1968)	15a	46	47	2	5	100(3,033)
V (1973)	K21a	51	40	2	7	100(3,055)

5.1 * 恩人がキトクするとき

〔リスト〕 ある会社の社長が、自分の会社を破産からすくう大事な会議に出かけようとしたとき、親以上に世話になった人がキトクだ、という知らせが届いたとします。その社長はつぎのどちらをすべきでしょうか？

- | | |
|----------------------|--------|
| 1 なにをおいても病床へかけつける | |
| 2 たとえ気になっても、会社の会議に出る | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

＜ # 5.1 の質問，答ともに変更＞

	問	1 か病 けけ床 るつへ	2 会会 出議社 るにの	3 他	4 D.K.	計
V (1973)	M17a	52	40	1	7	100(1,539)

5.1 b 親がキトクするとき

〔質問 a と同じ絵, 同じリストで〕 いまの質問では, 恩人が死にそうなときを, うかがいましたが, もしキトクなのが恩人ではなくて, 南山さんの親だったら, どうしたらよいと思いますか, どちらかえらんで下さい?

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1 何をおいてもすぐ故郷へ帰る | |
| 2 故郷のことが気になっても, 大事な会議に出席する | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 故郷へ 帰る	2 会 議 に 出 る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	42	49	48	1	2	100(2254)
II (1958)	111b	50	41	2	7	100(1,449)
III (1963)	13b	45	47	2	6	100(2,698)
IV (1968)	15b	44	49	3	4	100(3,033)
V (1973)	K21b	51	41	2	6	100(3,055)

5.1 b * 親がキトクするとき

〔同じリスト〕 では, そのとき, 世話になった人ではなくて, 親がキトクだ, という知らせが届いたとしたら, どうでしょうか?

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 なにをおいても病床へかけつける | |
| 2 たとえ気になっても, 会社の会議に出る | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

＜ # 5.1 b の質問, 答ともに変更 ＞

	問	1 病 床 つ へ け か る け	2 会 社 に の 出 会 議	3 他	4 D.K.	計
V (1973)	M17b	59	36	1	4	100(1,539)

5.1 恩人がキトクするとき × # 5.1 b 親がキトクするとき

	恩人	1 故郷	2 故郷	3 会議	4 会議	5 その他	計
	親	会議	故郷	故郷	会議		
I (1953)	41, 42	15	38	9	31	7	100(2254)
II (1958)	111 ab	13	36	10	27	14	100(1,449)
III (1963)	13 ab	10	34	10	35	11	100(2,698)
IV (1968)	15 ab	13	32	11	35	9	100(3,033)
V (1973)	K21 ab	9	40	8	30	13	100(3,055)

cf. # 5.1 * × # 5.1 b *

5.1 * 恩人がキトクのと看× # 5.1 b * 親がキトクのと看

	恩人	1 病床	2 病床	3 会議	4 会議	5 その他	計
	親	会議	病床	病床	会議		
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M ¹ 7 a b	7	44	12	28	9	100(1,539)

5.1 c-1 入社試験

〔リスト〕 あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新らしく職員を一人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、
「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」
と社長のあなたに報告しました。

あなたはどちらをとれ（採用しろ）といえますか？

- | | | | |
|---|----------------|---|--------------|
| 1 | 1番の人を採用するようにいう | 2 | 親戚を採用するようにいう |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 | D.K. |

	問	1 一 番 の 人	2 親 戚 の 人	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20 a	75	19	2	4	100(2,698)
IV (1968)	22 a	78	17	2	3	100(3,033)
V (1973)	K+M	73	19	1	7	100(4,594)
	K28 a	73	19	1	7	100(3,055)
	M16 a	72	19	2	7	100(1,539)

5.1 c-2 入社試験

〔つぎのリスト〕 それでは、このばあい、2 番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたの恩人の子供だったとしたら、あなたは どうしますか？（どちらをとれといいますか？）

- 1 1 番の人を採用するようにいう
- 2 恩人の子供を採用するようにいう
- 3 その他〔記入〕

4 D.K.

	問	1 一 番 の 人	2 恩 人 の 子	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20b	48	44	2	6	100(2,698)
IV (1968)	22b	54	39	2	5	100(3,033)
V (1973)	K+M	52	38	2	8	100(4,594)
	K28 b	52	39	2	7	100(3,055)
	M16 b	52	38	1	9	100(1,539)

5.1 c-1 入社試験（親戚）× # 5.1 c-2 入社試験（恩人の子）

	親 戚 の恩 子人	1 番 恩 人	2 親 戚 恩 人	3 親 戚 1 番	4 1 番 1 番	5 そ の 他	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	20 a b	25	17	2	46	10	100(2,698)
IV (1968)	22 a b	23	14	2	52	9	100(3,033)
V (1973)	K+M	20	16	2	49	13	100(4,594)
	K28 a b	20	17	2	50	11	100(3,055)
	M16 a b	21	16	2	49	12	100(1,539)

5.1 d 大切な道徳

〔リスト〕 つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか？

1 親孝行をすること	2 恩返しをすること
3 個人の権利を尊重すること	4 自由を尊重すること
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 親 孝 行	2 恩 返 し	3 権 利 尊 重	4 自 由 尊 重	5 他	6 D.K.	計 (複数回答)
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	17	61	43	48	40	1	4	100(2,698)
IV (1968)	20	61	45	44	46	0	2	100(3,033)
V (1973)	K26	63	43	45	43	0	2 *	100(3,055)

* 3つ以上えらんだものはD, K, に入れた。

5.1 d 大切な道徳の組合せ

	問	1 孝 行 × 恩 返	2 孝 行 × 権 利	3 孝 行 × 自 由	4 恩 返 × 権 利	5 恩 返 × 自 由	6 権 利 × 自 由	7 は孝 行 恩 返 の み 又	8 は権 自 利 の み 又	9 そ の 他	計
I (1953)	×										
II (1958)	×										
III (1963)	17	28	19	12	8	7	21	1	1	3	100(2,698)
IV (1968)	20	28	15	18	8	8	20	1	1	1	100(3,033)
V (1973)	K26	28	17	16	8	6	20	1	1	3	100(3,055)

5.6 めんどうをみる課長

〔リスト〕 ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか、どちらか一つあげて下さい？

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことでは人のめんどうを見ません | |
| 2 | 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもあります。が、仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K |

	問	1 めん みど なう いを	2 めん んど みう るを	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	35	12	85	1	2	100(2254)
II (1958)	117	14	77	2	7	100(1,449)
III (1963)	21	13	82	1	4	100(2,698)
IV (1968)	23	12	84	1	3	100(3,033)
V (1973)	K29	13	81	1	5	100(3,055)

5.6 * 上役とのつき合い

あなたが会社で働いているとします。その場合、上役と仕事以外のつき合いはなくてもよいと思いますか、それともあった方がよいと思いますか？

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | なくてもよい | 2 | あった方がよい |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 | D.K. |

<< # 5.6 の質問、答ともに変更 >>

	問	1 なく ても よい	2 あ っ た 方 が よ い	3 他	4 D.K.	計
V (1973)	M 5	22	72	2	4	100(1,539)

5.6 b つとめたい会社

〔リスト〕 つぎのような2つの会社があるとします。もしあなたがつとめるとしたら、どちらの会社の方がよいですか？

- | | |
|--|--------|
| 1 給料は多いが、レクリエーションのための運動会や旅行などはしない会社 | 4 D.K. |
| 2 給料はいくらか少ないが、運動会や旅行などをして、家族的な雰囲気のある会社 | |
| 3 その他〔記入〕 | |

	問	1 給料が多い 会社	2 家族的な 雰囲気	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M18	21	74	1	4	100(1,539)

5.9 秀吉は若者の手本

タイコ
「太閤秀吉のように、名もないものから立身出世をした人の努力は、いつの世になっても、若い人のテホン（手本）である」という意見に、あなたは賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛 成 【テホンだ】	
2 いちがいにいえぬ	
3 反 対 【テホンでない】	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 賛 成	2 い ち が い に え ぬ	3 反 対	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	6	80	10	4	1	5	100(2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	K 9	62	25	10	0	3	100(3,055)

5.17 社会生活で注意しあう

〔リスト〕 社会での生活をなめらかにしてゆくには、どちらがよいと思いますか？

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 自分では気がつかないことがあるから、お互いに注意しあう |
| 2 | 自分自身はきちんとし、他人への注意はさしひかえる |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 注 意 し あ う	2 注 意 は さ し ひ か え る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M12	75	22	1	2	100(1,539)

#5.18 友人のタイプ

〔リスト〕 あなたは、友人としてはどちらの方がよいと思いますか？

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | こちらから何も言わなくても、心配してむこうからいろいろ言ってくれる友人 |
| 2 | こちらから事情を打ちあければ、親身になって聞いてくれる友人 |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 言 っ て 友 く れ	2 聞 い て 友 く れ	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M14	23	73	1	3	100(1,539)

#5.19 議論をつくすか

〔リスト〕 PTAなどの会合で、意見が2つに分かれ、とてもひとつにまとまりそうにないとき、どうすべきだと思いますか？

- 1 あとに気まずさが残らないように、切りあげるべきだ
- 2 十分に議論をつくすべきで、気まずさが残ることは気にする必要はない
- 3 その他〔記入〕
- 4 D.K.

	問	1 切り あげる	2 議 論 つを くす	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M19	41	50	1	8	100(1,539)

5.2 0 「自由」は大切な , # 5.2 0 b「規律」は大切な

5.2 0 c「宗教的な心」は大切な , # 5.2 0 d「国を愛するということ」は大切な

5.2 0 e「先祖をとうとぶこと」は大切な , # 5.2 0 f「親孝行」は大切な

5.2 0 g「恩返し」は大切な , # 5.2 0 h「お金」は大切な

〔リスト〕 a 人間にとって、「自由」は大切だと思いますか。それはつぎのどれに当たりますか？

b では、「規律」は大切だと思いますか？

c では、「宗教的な心」は大切だと思いますか？

d では、「国を愛するということ」は大切だと思いますか？

e では、「先祖をとうとぶこと」は大切だと思いますか？

f では、「親孝行」は大切だと思いますか？

g では、「恩返し」は大切だと思いますか？

h では、「お金」は大切だと思いますか？

1 非常に 2 やや 3 あまり大 4 全く大切 5 その他 6 D.K.
大切 大切 切でない でない 〔記入〕

	問	1 非常に 大切	2 やや 大切	3 あま り大 切で ない	4 全 く大 切で ない	5 他	6 D.K.	計
V (1973)	M24a 自由	66	29	3	1	1	0	100(1,539)
	M24b 規律	72	24	2	0	0	2	100(1,539)
	M24c 宗教心	28	39	24	4	1	4	100(1,539)
	M24d 愛国	59	30	7	1	1	2	100(1,539)
	M24e 先祖	63	29	6	1	0	1	100(1,539)
	M24f 親孝行	76	22	1	0	0	1	100(1,539)
	M24g 恩返し	66	29	3	1	0	1	100(1,539)
	M24h お金	63	30	5	0	0	2	100(1,539)

§ 6 男 女 差 別

6.2 男・女の生まれかわり

もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに、生まれてきたいと思いますか？

1 男に	2 女に	3 その他〔記入〕	4 D.K.
------	------	-----------	--------

		問	1 男 に	2 女 に	3 他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	90	5	4	1	100(684)
	III (1963)	1 a	88	7	3	2	100(1,252)
	IV (1968)	1 a	89	5	4	2	100(1,427)
	V (1973)	K+M	89	5	2	4	100(2,063)
		K1 a	89	6	2	3	100(1,395)
		M1 a	90	5	3	2	100(668)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	64	27	6	3	100(765)
	III (1963)	1 a	55	36	5	4	100(1,446)
	IV (1968)	1 a	43	48	4	5	100(1,606)
	V (1973)	K+M	42	51	3	4	100(2,531)
		K1 a	42	51	3	4	100(1,660)
		M1 a	43	50	3	4	100(871)

6.2 c 苦勞どちらが多いか

今の日本では、ひとくちでいうと、男と女ではどちらの方が苦勞が多い、と思いますか？

1 男が多い 2 女が多い 3 その他〔記入〕 4 D.K.

		問	1 男 が 多 い	2 女 が 多 い	3 他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	1 b	56	25	12	7	100(1,252)
	IV (1968)	1 b	60	19	16	5	100(1,427)
	V (1973)	K+M	64	18	11	7	100(2,063)
		K1 b	65	17	12	6	100(1,395)
		M1 b	64	18	9	9	100(668)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	1 b	39	42	12	7	100(1,446)
	IV (1968)	1 b	47	33	14	6	100(1,606)
	V (1973)	K+M	47	33	13	7	100(2,531)
		K1 b	48	33	13	6	100(1,660)
		M1 b	47	34	13	6	100(871)

6.2 d 楽しみどちらが多いか

それでは、どちらの方が楽しみが多いと思いますか？

1 男が多い 2 女が多い 3 その他〔記入〕 4 D.K.

		問	1 男 が 多 い	2 女 が 多 い	3 他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	1 c	72	10	10	8	100(1,252)
	IV (1968)	1 c	66	10	17	7	100(1,427)
	V (1973)	K+M	71	11	10	8	100(2,063)
		K1 c	70	11	11	8	100(1,395)
		M1 c	74	10	10	6	100(668)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	×					
	III (1963)	1 c	67	13	11	9	100(1,446)
	IV (1968)	1 c	60	16	15	9	100(1,606)
	V (1973)	K+M	63	16	12	9	100(2,531)
		K1 c	64	15	12	9	100(1,660)
		M1 c	62	18	12	8	100(871)

6.4 女の仕事は好ましいか

以前は、女は家の仕事ばかりしていましたが、近ごろでは世間の仕事にもたずさわるようになりました。あなたはこれは好ましいことと思いますか、それとも好ましくないことと思いますか？

1 好ましい 2 好ましくない 3 その他〔記入〕 4 D.K.

		問	1 好 ま し い	2 好 ま し く な い	3 他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	10	61	26	10	3	100(1,058)
	II (1958)	×					
	III (1963)	×					
	IV (1968)	×					
	V (1973)	K2	65	28	5	2	100(1,395)
女 の み	I (1953)	10	66	23	6	5	100(1,196)
	II (1958)	×					
	III (1963)	×					
	IV (1968)	×					
	V (1973)	K2	74	17	5	4	100(1,660)

§ 7 一般の社会的問題

7.1 人間らしさはへるか

こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 賛成〔人間らしさはへる〕 | 2 いちがいにはいえない |
| 3 反対〔人間らしさ、不変、ふえる〕 | |
| 4 その他〔記入〕 | 5 D.K. |

	問	1 賛 成	2 はい いち えが ない に	3 反 対	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	5	30	17	35	1	17	100(2254)
II (1958)	3	33	17	34	0	16	100(920)
III (1963)	6	37	22	28	1	12	100(2698)
IV (1968)	7	40	16	35	1	8	100(3,033)
V (1973)	K10	50	21	22	1	6	100(3,055)

7.2 心の豊かさはへらないか

こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはしない」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 反対（へる）	2 いちがいにいえない
3 賛成（へらない）	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 反 (へる) 対	2 いち えが ない に	3 (賛 へら ない) 成	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	29	17	8	58	1	16	100(2254)
II (1958)	24	21	10	52	1	16	100(920)
III (1963)	12	18	19	49	1	13	100(2698)
IV (1968)	13	22	13	56	1	8	100(3,033)
V (1973)	K18	31	20	42	1	6	100(3,055)

7.4 日本と個人の幸福

〔リスト〕 あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください？

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 個人が幸福になって、はじめて日本全体がよくなる |
| 2 | 日本がよくなって、はじめて個人が幸福になる |
| 3 | 日本がよくなることも、個人が幸福になることも同じである |
| 4 | その他〔記入〕 |
| 5 | D.K. |

	問	1 個人 ↓ 日本	2 日本 ↓ 個人	3 日本 ⇕ 個人	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	45	25	37	31	1	6	100(2254)
II (1958)	×						
III (1963)	16	30	30	34	0	6	100(2698)
IV (1968)	19	27	32	36	1	4	100(3,033)
V (1973)	K25	30	26	37	0	7	100(3,055)

7.5 b 公益と個人の権利

〔リスト〕 つぎのような意見があります。あなたはどちらに賛成ですか。もちろん、場合により、また程度によって違うでしょうが、ひとくちでいうと、どちらを重視すべきでしょうか？

- | | |
|---|--------|
| 1 個人の権利をみとめるためには、公の利益が多少犠牲になることがあっても、しかたがない | 4 D.K. |
| 2 公の利益のためには、個人の権利が、多少犠牲になることがあってもしかたがない | |
| 3 その他〔記入〕 | |

	問	1 重個人 視人 せを よ	2 重公 視益 せを よ	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	23	29	57	1	13	100(2698)
IV (1968)	28	33	57	1	9	100(3,033)
V (1973)	K31	37	51	1	11	100(3,055)

7.5 b * 公益と個人の権利

〔リスト〕つぎのような意見があります。あなたはどちらに賛成ですか。もちろん、場合により、また程度によって違うでしょうが、ひとくちでいうと、どちらを重視すべきでしょうか？

- | | |
|--|--------|
| 1 個人の権利をみとめるためには、公共の利益が多少犠牲になることがあっても、しかたがない | 4 D.K. |
| 2 公共の利益のためには、個人の権利が多少犠牲になることがあっても、しかたがない | |
| 3 その他〔記入〕 | |

＜# 7.5 b の答の「公」を「公共」に変更＞

	問	1 個人 権の 利	2 公共 利の 益	3 他	4 D.K.	計
V (1973)	M21	32	55	1	12	100(1,539)

7.5 c 道路立退き反対運動 , # 7.5 d 学校立退き反対運動

a [リスト] 道路など公共事業のため、立退きさせられる人達は、しばしば反対運動をおこなっています。あなたはその反対運動についてどう思いますか？

- | | | |
|---|------------------|--------|
| 1 | その人達のわがままの場合が多い | |
| 2 | 権利の主張として当然の場合が多い | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K. |

b [同じリスト] では、学校をつくるような場合は、どうでしょうか？

	問		1 わが まま	2 権 利 の 主 張	3 他	4 D.K.	計
V(1973)	M22 a	道 路	30	56	4	10	100(1,539)
	M22 b	学 校	38	45	5	12	100(1,539)

7.6 勲章か賞金か

〔リスト〕 社会のためとか、人類のためにつくした人に対して、国としてはつぎのうちどちらを、するのがよいと思いますか？

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1 勲章はぜひ出さなければならないが、必ずしも賞金を出す必要はない | |
| 2 賞金はぜひ出さなければならないが、必ずしも勲章を出す必要はない | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

〔“両方出せ”には「どちらか一方を出すとしたら？」とききなおせ〕

	問	1 勲 章	2 賞 金	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	23	48	33	9	10	100(2254)
II (1958)	9	54	27	5	14	100(920)
III (1963)	14	54	27	7	12	100(2698)
IV (1968)	16	59	25	6	10	100(3,033)
V (1973)	K22	55	22	7	16	100(3,055)

#7.7 仕事の価値

実際に必要な物を作ったり、売り買いする仕事をしている人と、学者や芸術家などのような人とは、どちらが社会的に見て価値が高いと思いますか？

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 実際の仕事の方が高い | 2 学者や芸術家の方が高い |
| 3 同じだ、職業に上下なし | 4 いちがいにはいえない |
| 5 その他〔記入〕 | 6 D.K. |

〔“学者は高いが、芸術家は低い”などは「2」にする〕

	問	1 実 仕事 の方	2 学 者 や 芸 術 家	3 同 じ	4 は い ち が い に	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	8	30	21	25	14	0	10	100(2254)
II (1958)	108	25	25	16	20	1	13	100(1,449)
III (1963)	8	23	20	28	20	0	9	100(2698)
IV (1968)	9	31	17	23	20	1	8	100(3,033)
V (1973)	K12	28	12	30	23	0	7	100(3,055)

#7.13c 法律の精神

〔リスト〕 法律について、つぎのような2つの意見があります。あなたはどちらの意見に賛成ですか？

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1 法律はおたがいに、ぐあいよく生活できるように、つくるべきである | |
| 2 法律は世の中に正義がおこなわれるように、つくるべきである | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 よ生ぐ う活あ にでい きよ るく	2 れ正 る義 よが う行 にわ	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	22	45	46	1	8	100(2,698)
IV (1968)	27	37	56	1	6	100(3,033)
V (1973)	K30	42	50	1	7	100(3,055)

#7.16 事故と社長

〔リスト〕 飛行機の事故があったとします。あなたは、つぎのどちらの社長の態度がよいと思いますか？

- | | | |
|---|-------------------|--------|
| 1 | 社長はまず犠牲者の家をあやまってる | |
| 2 | 社長は原因の調査などに努力する | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 あ や ま ま わ っ て	2 原 因 の 調 査	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M13	50	40	4	6	100(1,539)

7.18 人間の健康はよくなるか

これから先、人間の健康はよくなってゆくと思いますか、わるくなると思いますか？

a 健康	1	よくなる	2	わるくなる	3	変わらない
	4	その他〔記入〕			5	D.K.

	問	1 よ く な る	2 わ る く な る	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27 a	26	55	13	1	5	100(1,539)

#7.18b 心のやすらかさはますか

では、心のやすらかさは、ますと思いますか、へると思いますか？

b 心のやす らかさ	1	ます	2	へる	3	変わらない
	4	その他〔記入〕	5	D.K.		

	問	1 ま す	2 へ る	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27 b	13	64	13	1	9	100(1,539)

7.18 c 人間の自由はふえるか

人間の自由は、ふえると思いますか、へると思いますか？

c 自 由	1 ふえる	2 へる	3 変わらない
	4 その他〔記入〕	5 D.K.	

	問	1 ふ え る	2 へ る	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27 c	44	27	17	1	11	100(1,539)

7.18 d 生活は豊かになるか

ひとびとの生活は、豊かになると思いますか、^{マズ}貧しくなると思いますか？

d 生 活	1 豊かに	2 貧しく	3 変わらない
	4 その他〔記入〕	5 D.K.	

	問	1 豊 か に	2 貧 し く	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M ²⁷ _d	38	30	19	3	10	100(1,539)

#7.18e 幸福になるか

ひとびとは幸福になると思いますが、不幸になると思いませんか？

e 幸 福	1 幸福に	2 不幸に	3 変わらない
	4 その他〔記入〕	5 D.K.	

	問	1 幸 福 に	2 不 幸 に	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M27 e	27	26	24	4	19	100(1,539)

§ 8 政治的態度

8.1 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「日本の国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

- | | |
|------------------------|----------|
| 1 賛成〔まかせる〕 | 2 時、人による |
| 3 反対〔まかせっきりはいけない〕 | |
| 4 そんなにすぐれた人が出るとは考えられない | |
| 5 その他〔記入〕 | 6 D.K. |

	問	1 賛 成	2 時、 よ人 るに	3 反 対	4 はそ でん ない人	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	30	43	9	38	3	0	7	100(2254)
II (1958)	¹² 112	35	10	44	2	0	9	100(2369)
III (1963)	11	29	12	47	4	1	7	100(2698)
IV (1968)	12	30	10	51	3	1	5	100(3,033)
V (1973)	K15	23	15	51	5	1	5	100(3,055)

8.1 * 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「すぐれた政治家がでてきたら、国民が互いに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 賛成〔まかせる〕 | 2 反対〔まかせっきりはいけない〕 |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

◀ # 8.1 の答を変更 ▶

	問	1 賛 成	2 反 対	3 他	4 D.K.	計
V (1973)	M 8	30	60	2	8	100(1,539)

8.2 e 「民主主義」はよいか

〔リスト〕 あなたは、「民主主義」について、どう思いますか。このうち、あなたの意見に一番ちかいはどれですか？

1 よい	2 時と場合による	3 よくない
4 その他〔記入〕	5 D.K.	

＜このリストには「2 時と場合による」もある＞

	問	1 よ い	2 時 と 場 合 に よ る	3 よ く な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	27a	38	49	3	0	10	100(2,698)
IV (1968)	32a	38	52	3	0	7	100(3,033)
V (1973)	K35 a	43	46	2	0	9	100(3,055)

8.2 f 「資本主義」はよいか

それでは、「資本主義」についてどう思いますか？

◀ # 8.2 e と同じリスト ▶

	問	1 よ い	2 時 と 場 合 に よ る	3 よ く な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	27b	19	41	16	1	23	100(2698)
IV (1968)	32b	19	42	20	1	18	100(3,033)
V (1973)	K35- b	17	47	19	0	17	100(3,055)

8.2 g 「自由主義」はよいか

では、「自由主義」についてはどうですか？

＜# 8.2 e と同じリスト＞

	問	1 よ い	2 時 と 場 合 に よ る	3 よ く な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	27c	24	43	12	1	20	100(2,698)
IV (1968)	32c	29	44	13	1	13	100(3,033)
V (1973)	K35 c	30	44	10	0	16	100(3,055)

8.2 h 「社会主義」はよいか

では、「社会主義」についてはどうですか？

◀ # 8.2 e と同じリスト ▶

	問	1 よ い	2 時 と 場 合 に よ る	3 よ く な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	27d	15	40	20	1	24	100(2,698)
IV (1968)	32d	16	46	20	1	17	100(3,033)
V (1973)	K 35 d	14	51	16	0	19	100(3,055)

8.2 i 「共産主義」はよいか

では、「共産主義」についてはどうですか？

◀ # 8.2 e と同じリスト ▶

	問	1 よ い	2 時 と 場 合 に よ る	3 よ く な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	K ³⁵ _e	5	34	45	1	15	100(3,055)

8.2 j 「全体主義」はよいか

では、「全体主義」についてはどうですか？

＜# 8.2 e と同じリスト＞

	問	1 よ い	2 時 と 場 合 に よ る	3 よ く な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	K35 f	9	32	30	0	29	100(3,055)

8.3 b 専門の研究と政治

〔リスト〕 科学者と政治の関係について、つぎのような意見がありますが、あなたの意見に最も近いものを、1つだけえらんで下さい？

- 1 科学者は、専門の研究に打ちこんでいて、政治のことは全くかえりみないのがよい
- 2 科学者は、専門の研究をすることは必要だが、政治にもある程度の関心を示すのがよい
- 3 科学者は、専門の研究をしているばかりでなく、進んで政治に関係していくのがよい
- 4 その他〔記入〕
- 5 D.K.

	問	1 に専 専門 心の せ研 よ究	2 政治 性 必も 要	3 積 極 的 参に 加	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	43	20	45	22	0	13	100(2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	24	18	54	19	0	9	100(2,698)
IV (1968)	29	18	55	20	0	7	100(3,033)
V (1973)	K32	16	57	16	0	11	100(3,055)

#8.4 b 校長の礼服

小学校の卒業式などに、校長先生はモーニングなどの礼服を着てくるほうがよいでしょうか、それとも、着てこなくともよいでしょうか？

1 礼服を着てくるほうがよい	
2 礼服はいらない	
3 その他〔記入〕	4 D.K.

〔礼服はモーニングでなくてもよい〕

	問	1 礼 服 着 用	2 礼 服 不 要	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)*	2	43	45	3	9	100(920)
III (1963)*	3	41	52	2	5	100(2698)
IV (1968)	3	48	43	6	3	100(3,033)
V (1973)	K 4	47	44	5	4	100(3,055)

* <第Ⅱ、第Ⅲ次調査は質問文がちがう>

#8.6 選挙への関心

〔リスト〕 あなたは衆議院の総選挙があるとき、ふつうはどうしますか？

- 1 なにをおいても投票する
- 2 なるべく投票するやうにつとめる
- 3 あまり投票する気にならない
- 4 ほとんど投票しない
- 5 その他〔記入〕

6 D.K.

	問	1 てな もに 票を お い	2 な る べ く 投 票	3 ら す る ま い に 投 票	4 あ ま り に 投 票	5 票 ほ し と な い ど 投	6 他 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	34 134	62	32	3	2	1		100(2,369)
III (1963)	33	53	41	4	1	1		100(2,698)
IV (1968)	38	51	44	4	1	0		100(3,033)
V (1973)	K39	41	50	6	2	0	1	100(3,055)

8.7 支持政党

あなたは何党を支持していらっしゃいますか？

1 自 民 党	2 民 社 党
3 社 会 党	4 共 産 党
5 公 明 党	6 支持政党なし
7 その他〔記入〕	8 D.K.

	問	1 自 民 党	2 民 社 党	3 社 会 党	4 共 産 党	5 公 明 党	6 支 持 政 党 な し	7 他	8 D.K.	計
I (1953)	58	41	—	23	0	—	19	5	12	100(2254)
II (1958)	35 135	38	—	31	0	—	20	1	10	100(2369)
III (1963)	35	43	3	22	0	2	22	8		100(2698)
IV (1968)	39	41	4	22	2	4	21	2	4	100(3,033)
V (1973)	K+M	33	3	17	3	4	33	2	5	100(4,594)
	K40	35	3	17	3	4	31	2	5	100(3,055)
	M28	30	2	17	3	3	37	1	7	100(1,539)

第 I 次調査では、1：自由党と改進黨、3：左右社会党

§ 9 日本人・人種

9.1 日本人の性格（長所）

〔リスト〕 つぎのうち、日本人の性質をあらわしていると思うコトバがあったら、
いくつでもあげてください？

1 合理的	2 勤勉	3 自由を尊ぶ
4 淡泊	5 ねばり強い	6 親切
7 独創性にとむ	8 礼儀正しい	9 明朗
0 理想を求める		
X その他〔記入〕		Y D.K.

	問	1 合理的	2 勤勉	3 自由を尊ぶ	4 淡泊	5 ねばり強い	6 親切	7 独創性にとむ	8 礼儀正しい	9 明朗	10 理想を求める	11 他に	12 あげないも D.K.	計 (複数回答)
I (1953)	×													
II (1958)	²⁸ 128	12	55	15	19	48	50	8	47	23	33	—	12	100(2369)
III (1963)	32a	8	60	10	15	55	42	7	43	14	24	1	8	100(2698)
IV (1968)	37a	11	61	12	13	58	45	8	47	13	23	2	5	100(3033)
V (1973)	K ³⁸ a	13	66	9	14	52	31	7	37	9	21	1	6	100(3055)

9.1 c 日本人の性格（短所）

〔リスト〕 それでは、つぎのうちでは、どれですか。いくつでもあげてください？

1	けちん坊	2	気が短い	3	ずるい
4	熱しやすく、さめやすい	5	残忍	6	軽薄
7	しゅうねん深い	8	島国的	9	傲慢（ごうまん）
0	模倣的				
X	その他〔記入〕			Y	D.K.

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計 (複数回答)
		け ち ん 坊	気 が 短 い	ず る い	さ め し や す い	熱 し や す く	残 忍	軽 薄	し ゅ う ね ん 深 い	島 国 的	傲 慢	模 倣 的	お ひ げ と な つ い も D.K.	
I (1953)	×													
II (1958)	×													
III (1963)	32b	20	52	21	49	6	10	23	42	9	29	1	11	100(2,698)
IV (1968)	37b	20	49	19	47	5	9	26	39	9	27	2	0	100(3,033)
V (1973)	K38 b	20	41	23	46	8	10	23	44	9	29	2	9	100(3,055)

9.3 日本の庭・西洋の庭

〔絵〕 あなたはつぎのうち、どちらが好きですか？

1 日本のほう	2 西洋のほう
3 その他〔記入〕	4 D.K.

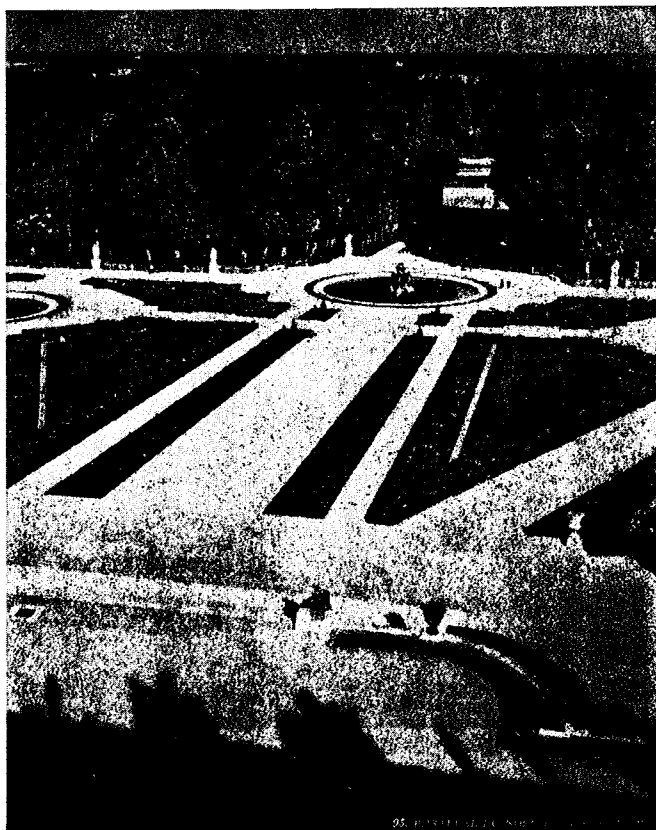
	問	1 日 本 の ほう	2 西 洋 の ほう	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	32	79	16	1	4	100(2254)
II (1958)	21	78	16	2	4	100(920)
III (1963)	25	85	11	2	2	100(2698)
IV (1968)	30	91	7	1	1	100(3,033)
V (1973)	K+M	90	7	1	2	100(4,594)
	K33	90	7	1	2	100(3,055)
	M23*	91	6	1	2	100(1,539)

* 第V次調査Mの2は西洋の城に変更



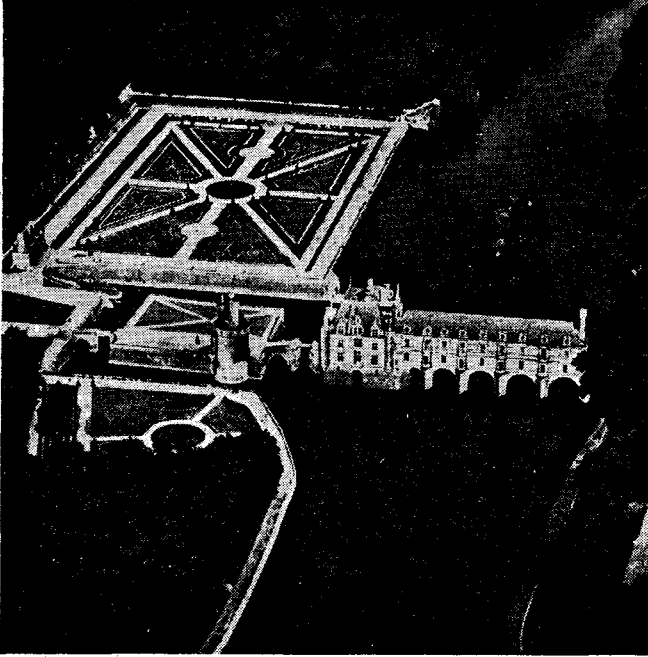
〔 日 本 の ほ う 〕

（ K 3 3 , M 2 3 共 通 ）



〔 西 洋 の ほ う 〕

(K 3 3 の み)



〔 西 洋 の ほ う 〕

(M 2 3 の み)

9.6 日本人・西洋人の優劣

日本人は西洋人とくらべて、ひとくちでいえばすぐれていると思いますか、それとも劣っていると思いますか？

- | | | | |
|---|---------|---|------------|
| 1 | すぐれている | 2 | 劣っている |
| 3 | 同じだ | 4 | ひとくちではいえない |
| 5 | その他〔記入〕 | 6 | D.K. |

	問	1 すぐ れて いる	2 劣っ てい る	3 同 じ だ	4 はひ いと えく ない で	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	25	20	28	14	23		15	100(2254)
II (1958)	×							
III (1963)	30	33	14	16	27	1	9	100(2698)
IV (1968)	35	47	11	12	21	1	8	100(3,033)
V (1973)	K16	39	9	18	26	1	7	100(3,055)

#9.7 すぐれた人種

〔リスト〕 つぎのうち、優れていると思う人種や民族があったら、いくつでもあげて下さい？

〔優れているといったものに、いくつでもマルをつけよ〕

1 日本人	2 中国人	3 インド人
4 ユダヤ人	5 ロシア人	6 ドイツ人
7 フランス人	8 イギリス人	9 アメリカ人
0 その他〔記入〕	X D.K.	

〔“優劣なし”などはその他に記入〕

	問	1 日 本 人	2 中 国 人	3 イ ン ド 人	4 ユ ダ ヤ 人	5 ロ シ ア 人	6 ド イ ツ 人	7 フ ラ ン ス 人	8 イ ギ リ ス 人	9 ア メ リ カ 人	10 あ ひ げ と な つ い も 他	11 D.K.	計 (複数回答)
I (1953)	×												
II (1958)	124	57	9	7	8	20	52	17	31	47	2	20	100(1,449)
III (1963)	31	52	6	3	6	16	45	15	27	46	6	21	100(2,698)
IV (1968)	36	59	9	3	8	12	45	13	21	43	7	17	100(3,033)
V (1973)	K37	60	21	3	12	5	36	9	15	25	10	18	100(3,055)

#9.10b 国旗をあげること（競技）

オリンピックで優勝したとき、優勝した選手を表彰しても、国の間の競争をさけるために、国旗をあげない方がよい、という意見があります。あなたはどのように思いますか？

1 国旗をあげた方がよい

2 あげない方がよい

3 その他〔記入〕

4 D.K.

	問	1 あ げ た よ 方 い が	2 あ げ が な い 方 い 方	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	7*	59	17	3	21	100(2,254)
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	K17	83	8	4	5	100(3,055)

* 質問文がちがう

9.12 日本の「科学技術の水準」 , # 9.12 b 日本の「芸術」

9.12 c 日本の「経済力」 , # 9.12 d 日本の「生活水準」

9.12 e 日本の「心の豊かさ」

- a 現在の日本は「科学技術の水準」という点では、つぎの4つのどれに当たると
 思いますか？
- b では、「芸術」という点では、日本はどれでしょう？
- c では、「経済力」という点では、日本はどれでしょう？
- d では、「生活水準」という点では、日本はどれでしょう？
- e では、「心の豊かさ」という点では、日本はどれでしょう？

1 非常に よい	2 やや よい	3 やや わるい	4 非常に わるい	5 その他 〔記入〕	6 D.K.
-------------	------------	-------------	--------------	---------------	--------

	問		1 非常に よい	2 やや よい	3 やや わるい	4 非常に わるい	5 他 D.K.	6	計
V (1973)	M25 a	科学技術	33	49	6	2	0	10	100(1,539)
	M25 b	芸 術	14	48	16	3	1	18	100(1,539)
	M25 c	経 済 力	25	42	19	5	1	8	100(1,539)
	M25 d	生活水準	10	42	32	10	1	5	100(1,539)
	M25 e	心	6	33	40	14	1	6	100(1,539)

Ⅲ 調査項目一覧表

(全国調査のみをあげる)

§	項 目		全 国					備 考	ペ ー ジ	
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)			
§ 1 基 本 項 目	1.1	性	1	1 101	○	○	K M	1.4 をカテ ゴ ライ ズ	} 17	
	1.2	年 齢	1	1 101	○	○	K M			
	1.3	学 歴	55	32a 132a	○	○	K M29		18	
	1.4*	職 業	—	— —	—	—	K M30		} 19	
	1.4	職 業	57	31a 131a	○	○	— —			
	1.5	住所の市区郡別	} サンプル台帳より						20	
	1.6	住所の地方別							21	
1.7	おくに(生まれ)	—	33 133	—	—	— —	—			
§ 2 個 人 的 態 度	2.1	しきたりに従うか	4	7 107	7	8	K11 —	2.4 の答を変 更	22	
	2.2	反対をおしきって実行	—	27 127	19	21	K27 —		23	
	2.3	幸 福 か	—	20 —	—	—	— —		—	
	2.3b	住所に満足か	2	— —	—	—	— —		} 24	
	2.3c	家庭に満足か	—	— —	—	—	— M9a			
	2.3d	社会に満足か	—	— —	—	—	— M9b		} 25	
	2.4*	くらし方	39	22 —	26	31	K34 —			
	2.4	くらし方	—	— —	—	—	— M26			
	2.5	自然と人間との関係	34	15 —	15	17	K23 M20		26	
	2.6	過去と将来	44	— —	—	18	K24		27	
	2.7	一番大切なもの	47	29 129	29	34	K41		28	
	2.8	一生働くか	—	— —	—	—	— M2		29	
2.9	ムダにしているか	—	— —	—	—	— M6	30			
2.10	幸福かためになることか	—	— —	—	—	— M11	31			
§ 3 宗 教	3.1	宗教を信じるか	—	16a —	28a	33a	K19a —		} 32	
	3.1b	宗 派 名	—	16b —	28a	33a	K19a —			
	3.1c	(宗教) していること	—	— —	28a	33a	K19a —		33	
	3.2	「宗教心」は大切か	—	16c —	28b	33b	K19b —		34	
	3.3	宗教は1つか	—	17 —	—	—	— —		—	

§	項 目		全 国					備 考	ペ ー ジ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)		
§ 3 宗 教	3.4	人々の宗教への態度	—	18	—	—	—	3.9の答を整理	—
	3.5	「あの世」を信じるか	—	19	—	—	—		—
	3.6	宗教か科学か	37	—	—	—	—		—
	3.7	性善・性悪	46	—	—	—	K36		35
	3.8	自殺やむをえぬか(板ばさみ)	2101	—	—	—	—		—
		〃 (生活苦)	2102	—	—	—	—		—
	3.9	首相の伊勢参り	14(15)	— 110	10	11	K14		—
	3.9*	首相の伊勢参り	—	—	—	—	M4		36
§4.1 子 供	4.1	子供を使いに出すとき	—	4	—	—	—	4.5を2項選 択に	—
	4.2	水鉄砲に注意	—	5	—	—	—		—
	4.3	弟のわがまま	31	—	—	—	—		—
	4.4	先生が悪いことをした	9	6	— 4	4	K5		37
	4.4b	ウソー先生のうわさ話	—	—	—	—	M7a		38
	4.4c	ウソーつき合い	—	—	—	—	M7b		
	4.4d	ウソー国内の混乱	—	—	—	—	M7c		
	4.5	子供に「金は大切」と教える	2401	—	— 5	5	K6		39
	4.5*	子供に「金は大切」と教える	—	—	—	—	M10		
	4.6	子供に「メツは大切」と教える	2403	—	—	—	K8		
	4.7	子供に自由と規律	2404	—	—	— 6	K7		41
	4.13	就職のとき	—	—	—	—	M15a		42
	4.13b	嫁入りのとき	—	—	—	—	M15b		
§4.2 家	4.8	結婚式・葬式盛大に	17(18)	— 109	9	10	K13	4.8の間・答 を変更	43
	4.8*	結婚式に金をかける	—	—	—	—	M3		
	4.9	本家・分家を考えるか	—	— 105	—	—	—		—
	4.10	他人の子供を養子にするか	2801	— 106	2	2	K3		44
	4.10b	親類の子供を養子にするか	2802	—	—	—	—		—
	4.11	先祖を尊ぶか	3	—	—	—	K20		45
	4.12	有名な人の息子のチンドン屋	12(13)	—	—	—	—		—

§	項 目		全 国					備 考	ペ ー ジ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1965)	IV (1968)	V (1973)		
§ 5 身 近 な 社 会	5.1	恩人がキトクるとき	41	— 111a	13a	15a	K21a	—	} 46
	5.1*	恩人がキトクるとき	—	— —	—	—	— M17a	5.1の問・答 を変更	
	5.1b	親がキトクるとき	42	— 111b	13b	15b	K21b	—	} 47
	5.1b*	親がキトクるとき	—	— —	—	—	— M17b	5.1bの問・ 答を変更	
	5.1c	入社試験	—	— —	20a	22a	K28a M16a	—	50, 51
	5.1d	大切な道徳	—	— —	17	20	K26	—	53
	5.2	恩人のむすこの入社	26	14 114	—	—	—	—	—
	5.3	出し合う金が高いとき	—	13 —	—	—	—	—	—
	5.4	目上の誤解の注意	19	— 116	—	—	—	—	—
	5.4c	目上につかわれるとき	11	— —	—	—	—	—	—
	5.5	巡査へ口答え	—	— 118	—	—	—	—	—
	5.6	めんどうをみる課長	35	— 117	21	23	K29	—	} 55
	5.6*	上役とのつき合い	—	— —	—	—	— M5	5.6の問・答 を変更	
	5.6b	つとめたい会社	—	— —	—	—	— M18	—	56
	5.7	近所・安い・有名な店	36	— —	—	24	—	—	—
	5.8	共同炊事	40	— —	—	25	—	—	—
	5.9	秀吉は若者の手本	6	— —	—	—	K9	—	57
	5.10	四十七士はよいか	50(51)	— —	—	—	—	—	—
	5.16	一万円の借用书	—	— —	—	26	—	—	—
	5.17	社会生活で注意しあう	—	— —	—	—	— M12	—	58
	5.18	友人のタイプ	—	— —	—	—	— M14	—	59
	5.19	議論をつくすか	—	— —	—	—	— M19	—	60
	5.20	「自由」は大切か	—	— —	—	—	— M24a	—	} 61
	5.20b	「規律」は大切か	—	— —	—	—	— M24b	—	
	5.20c	「宗教的な心」は大切か	—	— —	—	—	— M24c	—	
	5.20d	「国を愛するということ」は大切か	—	— —	—	—	— M24d	—	
	5.20e	「先祖をとうとぶこと」は大切か	—	— —	—	—	— M24e	—	
	5.20f	「親孝行」は大切か	—	— —	—	—	— M24f	—	
	5.20g	「恩返し」は大切か	—	— —	—	—	— M24g	—	
	5.20h	「お金」は大切か	—	— —	—	—	— M24h	—	

§	項 目		全 国					備 考	ペ ー ジ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)		
§ 6 男 女 差 別	6.1	中学校の男女共学	—	— 102	—	—	— —		—
	6.2	男・女の生まれかわり	—	— 103	1a	1a	K1 a M1a		62
	6.2b	男・女を希望	16	— —	—	—	— —		—
	6.2c	苦勞どちらが多いか	—	— —	1b	1b	K1b M1b		63
	6.2d	楽しみどちらが多いか	—	— —	1c	1c	K1c M1c		64
	6.3	女は家庭か世間か	—	— 104	—	—	— —		—
	6.4	女の仕事は好ましいか	10	— —	—	—	K2 —		65
§ 7 一 般 の 社 会 的 問 題	7.1	人間らしさはへるか	5	3 —	6	7	K10 —		66
	7.2	心の豊かさはへらないか	29	24 —	12	13	K18 —		67
	7.2 b	21世紀の世の中	—	— —	—	14	— —		—
	7.3	家族・国家中心と個人中心	—	26 126	—	—	— —		—
	7.4	日本と個人の幸福	45	— —	16	19	K25 —		68
	7.5	公益と個人の権利	—	— 119	—	—	— —		—
	7.5b	公益と個人の権利	—	— —	23	28	K31 —		
	7.5b*	公益と個人の権利	—	— —	—	—	— M21	7.5 b の公を 公共に	69
	7.5c	道路立退き反対運動	—	— —	—	—	— M22a		
	7.5d	学校立退き反対運動	—	— —	—	—	— M22b		70
	7.6	勲章か賞金か	23	9 —	14	16	K22 —		71
	7.7	仕事の価値	8	— 108	8	9	K12 —		72
	7.8	個人賞金の使い方 (ノーベル)	—	23 —	—	—	— —		—
	7.9	ふしだらな科学者	48(49)	— —	—	—	— —		—
	7.10	公金使いこみの疑い	—	— 115	—	—	— —		—
	7.11	自称・他称の統一	—	10 —	—	—	— —		—
	7.12	競輪で教育施設	—	8 —	—	—	— —		—
	7.13	法律は金持に有利か	—	— 121	—	—	— —		—
	7.13c	法律の精神	—	— —	22	27	K30 —		73
	7.14	客がいない車中のタバコ	—	— 122a	—	—	— —		—
	7.15	労組をつくるのはよいか	38	— —	—	—	— —		—
	7.16	事故と社長	—	— —	—	—	— M13		74
	7.18	人間の健康はよくなるか	—	— —	—	—	— M27a		75
	7.18b	心のやすらかさはますか	—	— —	—	—	— M27b		76

§	項 目		全 国					備 考	ペ ー ジ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)		
	718c	人間の自由はふえるか	—	— —	—	—	— M27c		77
	718d	生活は豊かになるか	—	— —	—	—	— M27d		78
	718e	幸福になるか	—	— —	—	—	— M27e		79
§8 政 治 的 態 度	8.1	政治家にまかせるか	30	12 112	11	12	K15 —	8.1の答を変更	} 80
	8.1*	政治家にまかせるか	—	— —	—	—	— M8		
	8.2	「民主主義」はよい感じか	—	— 123a	—	—	— —		—
	8.2b	「資本主義」はよい感じか	—	— 123b	—	—	— —		—
	8.2c	「自由主義」はよい感じか	—	— 123c	—	—	— —		—
	8.2d	「社会主義」はよい感じか	—	— 123d	—	—	— —		—
	8.2e	「民主主義」はよいか	—	— —	27a	32a	K35a —		81
	8.2f	「資本主義」はよいか	—	— —	27b	32b	K35b —		82
	8.2g	「自由主義」はよいか	—	— —	27c	32c	K35c —		83
	8.2h	「社会主義」はよいか	—	— —	27d	32d	K35d —		84
	8.2i	「共産主義」はよいか	—	— —	—	—	K35e —		85
	8.2j	「全体主義」はよいか	—	— —	—	—	K35f —		86
	8.3	科学者と政治	—	11 —	—	—	— —		—
	8.3b	専門の研究と政治	43	— —	24	29	K32 —		87
	8.4	校長の礼服	—	2 —	3	—	— —		—
	8.4b	校長の礼服	—	— —	—	3	K4 —		88
	8.5	社会問題への関心	—	30 130	—	—	— —		—
	8.6	選挙への関心	—	34 134	33	38	K39 —		89
	8.7	支持政党	58	35 135	35	39	K40 M28		90
§9 日 本 人 ・ 人 種	9.1	日本人の性格（長所）	—	28 128	32a	37a	K38a —		91
	9.1c	日本人の性格（短所）	—	— —	32b	37b	K38b —		92
	9.3	日本の庭・西洋の庭	32	21 —	25	30	K33 M23		93
	9.4	立派な人物	—	— —	34	—	— —		—
	9.5	日本人・西洋人の残酷	—	25 —	—	—	— —		—
	9.6	日本人・西洋人の優劣	25	— —	30	35	K16 —		97
	9.7	すぐれた人種	—	— 124	31	36	K37 —		98
	9.8	人種の能力差	—	— 125	—	—	— —		—

§	項 目		全 国					備 考	ペ ー ジ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)		
§ 9 日 本 人 ・ 人 種 つ づ き	9.9	日本の立場	—	— 113	—	—	— —		—
	9.10	国旗をあげること（競技）	7	— —	—	—	— —		—
	9.10b	国旗をあげること（競技）	—	— —	—	—	K17 —		99
	9.11	すぐれた国							—
	9.12	日本の「科学技術の水準」	—	— —	—	—	— M25a		100
	9.12b	日本の「芸術」	—	— —	—	—	— M25b		
	9.12c	日本の「経済力」	—	— —	—	—	— M25c		
	9.12d	日本の「生活水準」	—	— —	—	—	— M25d		
	9.12e	日本の「心の豊かさ」	—	— —	—	—	— M25e		

印 刷 有限会社 博 恵 印 刷 社

東京都新宿区西新宿 3-11-5

電話 東京(378) 3 3 9 7

Research Report

General Series No. 38

A STUDY OF THE JAPANESE NATIONAL CHARACTER

— THE FIFTH NATION-WIDE SURVEY —

1973

Research Committee

on the Study of the Japanese National Character.

TÔKEI-SÛRI KENKYÛZYO

Institute of Statistical Mathematics

4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku,

Tôkyô, Japan — 106